

時 期	年間通して	時 間	5日程度
難易度	★☆☆	対 象	どなたでも



## 海藻標本作り(SWS)



### <活動の概要>

磯観察で見つけた海藻を標本にすることで、海藻の名前や分類分けを学習し、より海の自然に親しむことができます。

また自然環境やその保護について考えるよい機会をなります。

「海」を素材としたオリジナルな標本をつくりましょう。

独立行政法人国立青少年教育振興機構

国立若狭湾青少年自然の家

## 活動のねらい

- 海藻標本の作り方を体験する。
- 海藻の名前や種類、特徴などについて理解を深める。
- 海藻のできる海の環境について考える。
- 準備から後片付けまで協力してやりきる。

## 準備物(1人あたりに必要な数量)

自然の家で準備しているもの (こちらでご用意している数)			団体で準備するもの	
用具名	場所	個数	用具・材料名	個数
観察用トレイ (小)	海の学習室	12 枚	標本にする海藻	適宜
(中)		6 枚	長靴 (海藻採集時)	1 足
(大)		12 枚	金属製のヘラ、マイナスドライバーでも可 能 (海藻採集時)	1 個
ピンセット (海の学習室)	海の学習室	35 本		
バケツ (海藻採取時)	ピロティ	18 個		1 双
はさみ	自然の家事務室	48 本	軍手 (海藻採集時)	1 枚
			台紙 (ケント紙又は画用紙)	1 本
			のりまたは木工用ボンド	
			※木工用ボンドは食堂でも注文・販売しています。	1 枚
			さらし木綿	適宜
			押し板・おもし(厚い本やまな板等で代用)	適宜
			新聞紙	

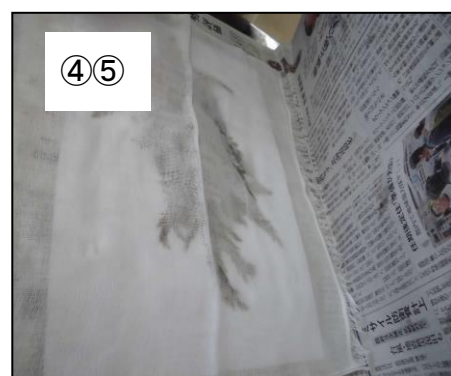
※自然の家で準備している活動用具の数は「利用ガイド～資料編～」にも記載しています。

※海の学習室・食器棚の鍵は事務室で貸出します。



## 手順

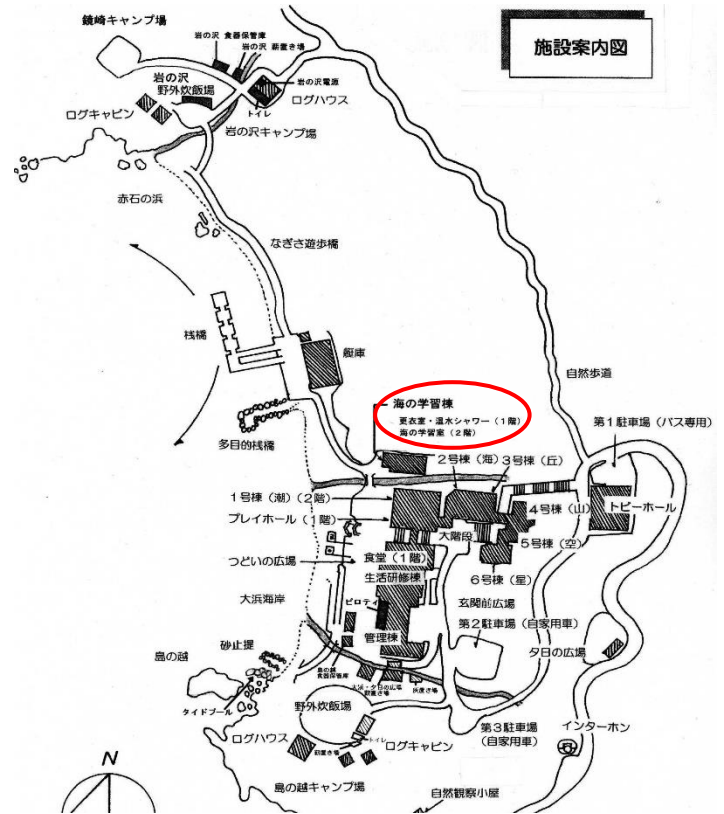
- (1) バットに水道水を入れ海藻を浸します。  
(塩抜き10分ぐらい)
- (2) はさみで海藻の大きさを調整します。
- (3) 台紙をバットの中に沈め、海藻を台紙にのせて引き上げてピンセットで整えます。
- (4) 台紙を新聞紙の上にのせます。
- (5) 台紙の上にさらし木綿をかけ、その上に新聞紙を重ねます。
- (6) 最後に押し板をのせ、重しをのせます。
- (7) 当日にもう1回、2日目に2回、3日目以降1日1回新聞紙を交換します。  
(5日程度で乾きます。)
- (8) 台紙でくっついていないものは帯紙で止め、のりや木工用ボンドで貼り付けます。
- (9) 採集場所と採集年月日を記入しましょう。(完成！)



## 活動場所: 海の学習室

- 海の学習室

※海の学習室の鍵は事務室で貸出します



## ふりかえりの視点

- 海藻標本作りを通じて、海藻の名前や種類を調べ、海藻に興味、関心を持つことができたか。
- できた作品をお互いに見合うことで、それぞれのよさに気づくことができたか。
- 協力して、準備、後片付けができたか。

## 指導上の留意点

- 必要な分だけ海藻を採集してください。
- 磯は大変すべりやすく怪我をしやすいので、長靴を履きましょう。
- 海藻はできるだけ根元から全体を採りましょう。
- 海の学習室を使用される場合は、事前に事務室で使用可否の確認、合鍵の受け取り・返却が必要です。
- 海の学習室の使用後は、室内・流し台の清掃をしてください。
- 活動で生じたゴミは分別し、自然の家が指定する場所に廃棄してください。

2016年3月作成

最終更新 2021年4月